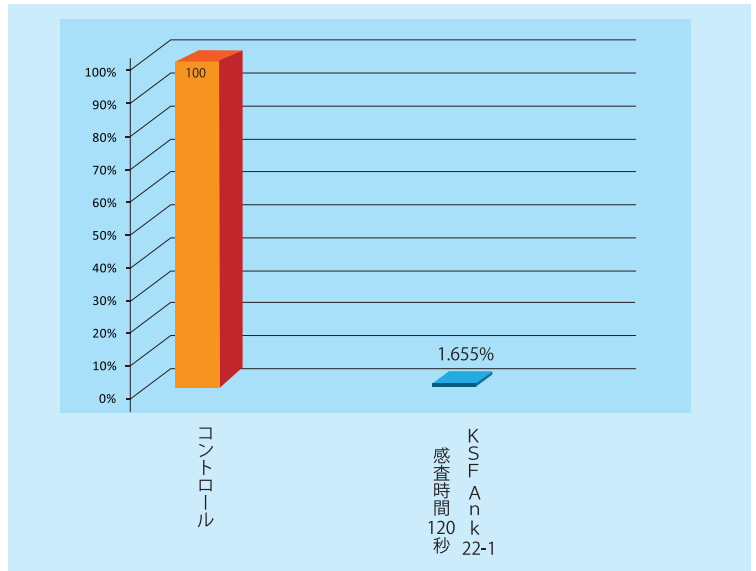


リアルタイムPCR法による試験データ

国立大学法人
 広島大学大学院生物圏科学研究科での
 ノロウイルスRNAゲノムの残存率検証結果

■学術名 KSFAnk22-1

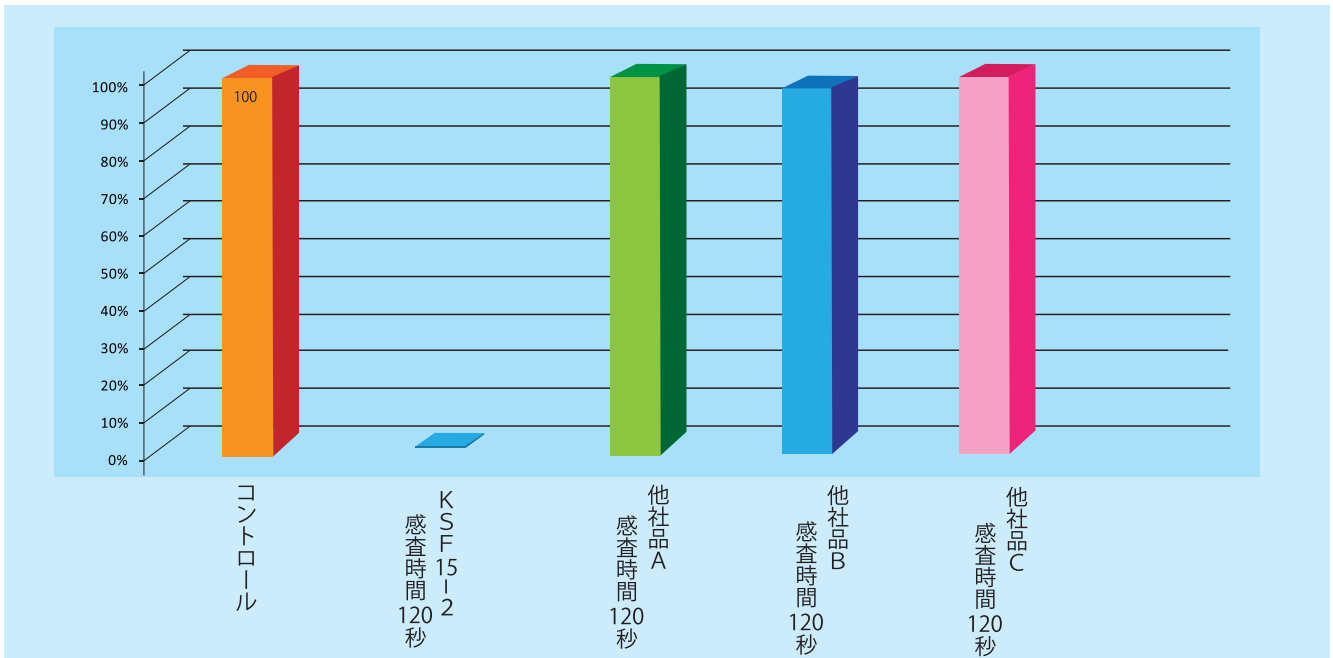


リアルタイムPCR法による試験データ <抗ノロウイルス効果>

国立大学法人 広島大学大学院生物圏科学研究科でのノロウイルスRNAゲノムの残存率検証結果

■学術名 KSF15-2

※計3回試験をし、その率の平均をグラフ表示している。



各種手洗いせっけん液の抗ノロウイルス効果比較

K S F Ank22-1 抗菌力試験

日本獣医生命科学大学 応用生命科学部食品化学科 食品バイオテクノロジー教室検査結果

[試験方法] K S F Ank22-1を2、4、8、および16倍に希釈し、各9mlを滅菌試験管に分注した。

この試験管に試験菌の 10^6 液1mlを添加し、30秒および1分間反応させた。

反応後適宜希釈し、グラム陰性桿菌はDHL寒天培地、グラム陽性球菌はブドウ球菌培地に塗抹した。

35℃ 24~48時間培養後、発現したコロニー数を計測した。

[試験結果] K S F Ank22-1は2倍~16倍希釈液全てにおいて制菌効力が認められた。

		希釈倍率2倍	希釈倍率4倍	希釈倍率8倍	希釈倍率16倍
グラム陰性桿菌	30秒	<100	<100	<100	<100
	60秒	<100	<100	<100	<100
グラム陽性球菌	30秒	<100	<100	<100	<100
	60秒	<100	<100	<100	<100